

「異國漂流物語」

鵜足郡造田村西村家文書

異國漂流物語

一全

一漢字を新く用ひて一語を成す
 七、漢字の用ひたる字、少くは、連字、杯、由、り、は、音、と、存、不、自、ち

有る字通り、は、杯、相、見、く、ら、ん

一、用、ひ、る、ま、た、其、名、字、通、用、は、音、と、ん

一、用、ひ、る、ま、た、カ、コ、ト、ウ、玉、カ、コ、ウ、玉、他、布、玉、存、在、す、亦、音、通、は、ん

一、用、ひ、る、ま、た、一、通、り、の、初、め、に、初、め、を、音、と、ん

阿蘭陀言語通記

米ハ	ハライ	酒	ヒウ	肴 ^{サシ}	ヘニカド	乳	スリ
火ハ	ホイゴ	食	コノカ	箸	ニガボス	家	バハイ
魚	カコボ	買	キテニ	女	モヘ口	着	キライ
鼻	タチヤイ	髪	ボロ口	目	フタ	月	ホハニ
	セタニ	柄	ハコ、	耳	タブ	口	マウチ

鵜足郡造田村西村家文書

【資料名】異国漂流物語 全 (資料番号416) (複製本番号4754)

【解説】

鵜足郡造田村 現 仲多度郡まんのう町造田)の庄屋を勤めた西村家に伝わる資料。

本資料は、文政十三〜天保元 (一八四〇)年に備前岡山の神山丸が二ヶ月余り漂流した結果、バターン諸島へ漂着した際の様子を克明に記したものである。

この前代未聞の記録を記したのが神力丸の水主として乗船していた讃岐国津田村 (現在のさぬき市津田町津田)の勝之助である。勝之助は、仲間が多く亡くなる中、なんとか帰国した後に、漂流先での出来事を詳細に記している。